

JAOS FENDER GARNISH typeX Installation Instructions

Vehicle Application
SUZUKI JIMNY JB64 (18.07-)

このたびはJAOSフェンダーガーニッシュ typeXをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書はフェンダーガーニッシュ typeXを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

<p>取付参考時間 INSTALLATION TIME</p>  <p>約3.0時間 3.0-hours</p>	<p>必要工具 TOOL</p> <p>プラスドライバー 六角レンチ ドリル (2mm、4mm) 精密丸やすり マーカーペン マスキングテープ、養生テープ</p>
<p>作業難度 SKILL LEVEL</p> <p>① パーツ交換 / 取付 Easy ② 車体加工あり Moderately Easy ③ 専門知識が必要 Moderately Difficult ④ 分解整備 Difficult</p>	

取り付け・取り扱い上の注意事項

この取付要領書では安全な作業を行っていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷又は中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況、および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。



アドバイス

この表示は効率よく作業を行っていただく上で知っておいていただきたい作業手順や扱い方法を示します。

塗装について



注意

塗装前には必ず取付確認を行ってください。
塗装後の製品交換は、お受けしかねますのでご了承ください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. サンドィング処理・プライマー塗装を行なう。
3. 上塗り塗装を行なう。
4. 乾燥させる。



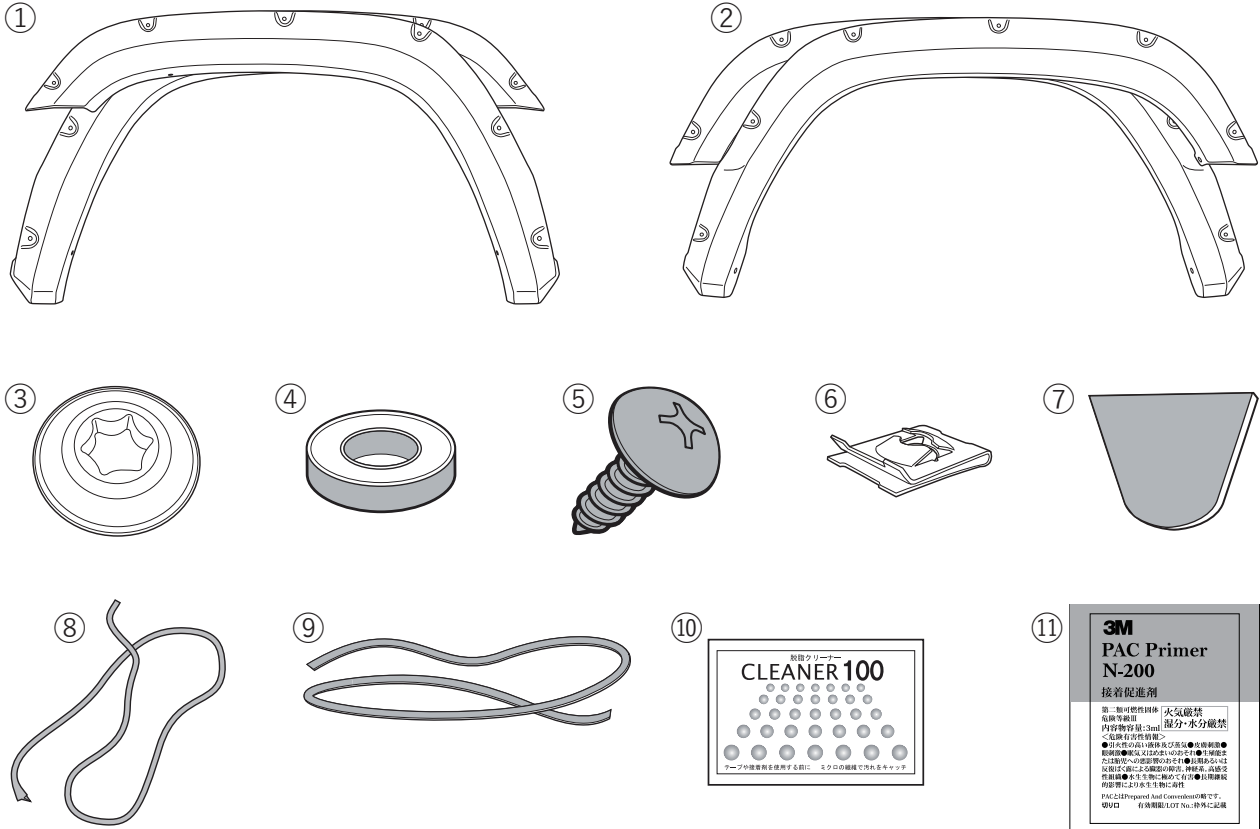
注意

本製品を塗装する際は材質の特性上、高温焼付け塗装は行わないでください。
常温または製品表面温度が30～40℃程度の低温焼付けを行ってください。

フェンダーガーニッシュ本体①(Fフェンダー/左右)

フェンダーガーニッシュ本体②(Rフェンダー/左右)

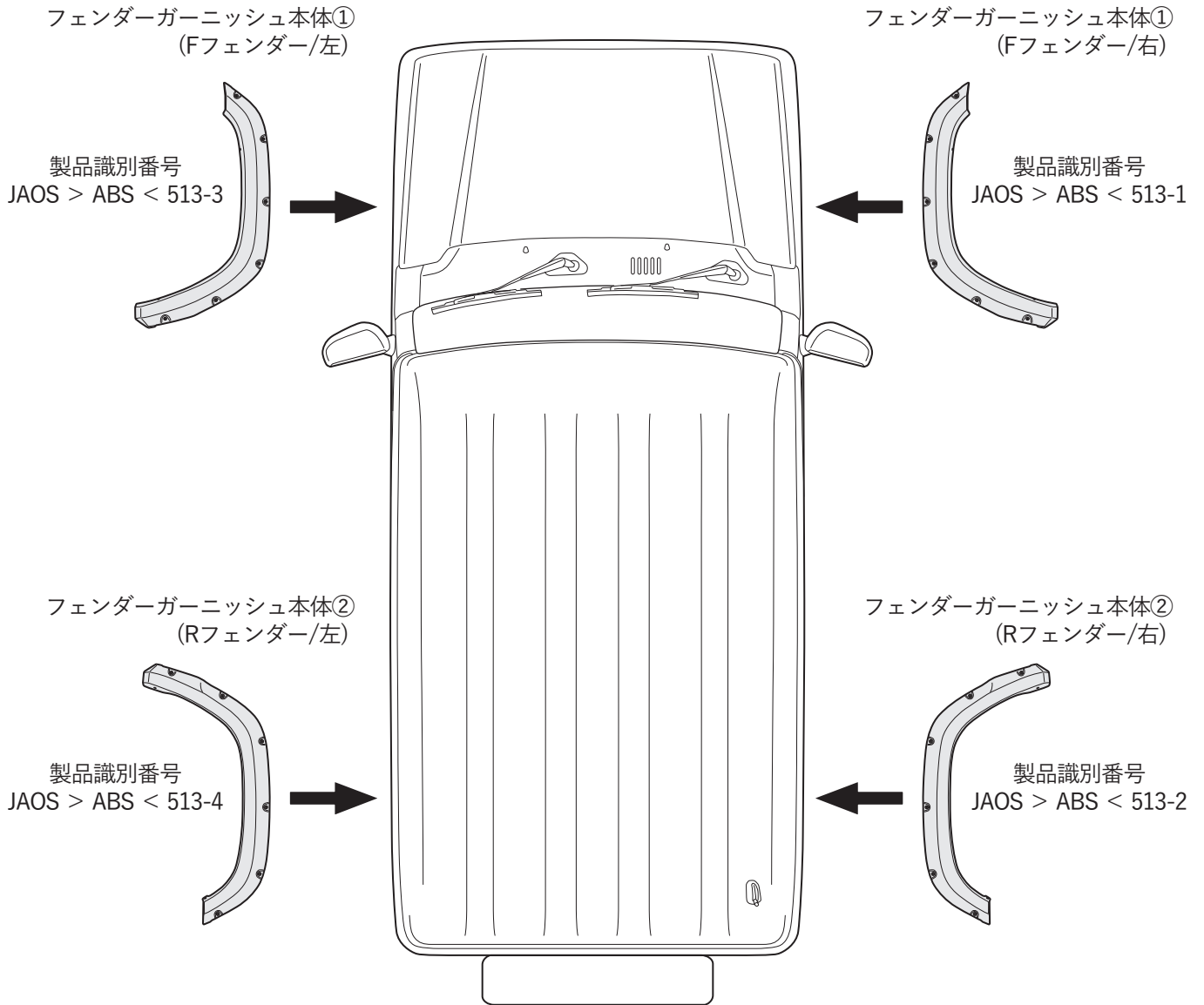
部品構成



構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY
① フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) FENDER GARNISH(FRONT FENDER LH/RH)	各 1	⑦ 型抜き両面テープ DIE CUT DOUBLE-SIDED TAPE	30
② フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー / 左右) FENDER GARNISH(REAR FENDER LH/RH)	各 1	⑧ エンドモール END MOLDING	1
③ ダミーボルト DUMMY BOLT	24	⑨ パッドモール PAD MOLDING	2
④ ゴムワッシャー (16×8 3.0t) RUBBER WASHER	8	⑩ クリーナー 100 REMOVE GREASE CLEANER	1
⑤ タッピングスクリュー (M5-16) TAPPING SCREW	8	⑪ PAC プライマー PAC PRIMER	1
⑥ スピードナット SPEED NUT	4		

取付け位置の確認

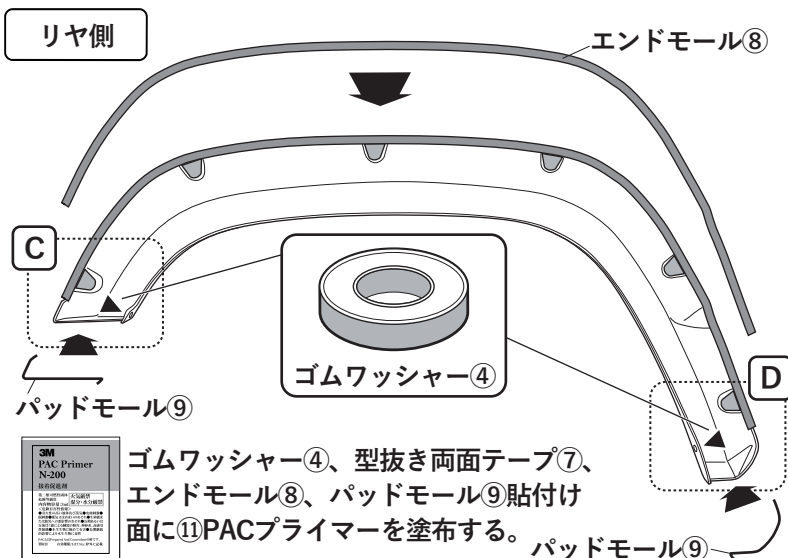
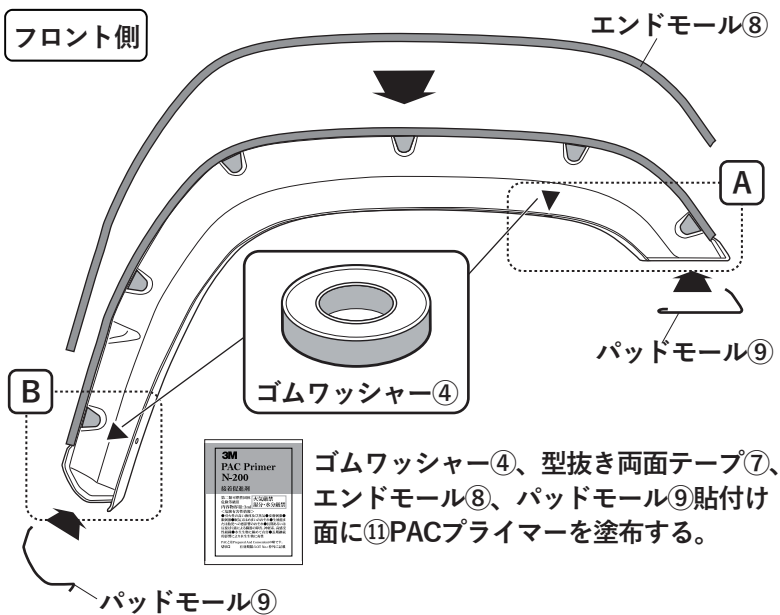
※○の数字は本書の構成部品番号です。



取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー、●数字は作業の順番を示しています。

1. 製品の取付け準備



・図のようにフェンダーガーニッシュ本体(Fフェンダー/左右)①、フェンダーガーニッシュ本体(Rフェンダー/左右)②のゴムワッシャー④、型抜き両面テープ⑦、エンドモール⑧、パッドモール⑨貼付け面にPACプライマー⑪を塗布します。
 ※PACプライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。

・図を参照し、ゴムワッシャー④、型抜き両面テープ⑦、エンドモール⑧、パッドモール⑨を貼付けます。

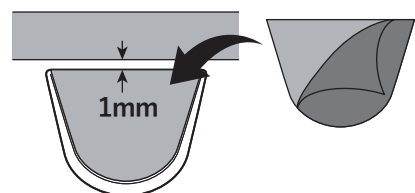
! 注意 PACプライマーはあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。

3M PAC Primer N-200

両面テープ接着剤使用時の注意 (3M/PACプライマーN200)

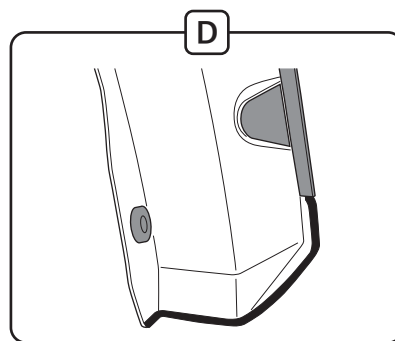
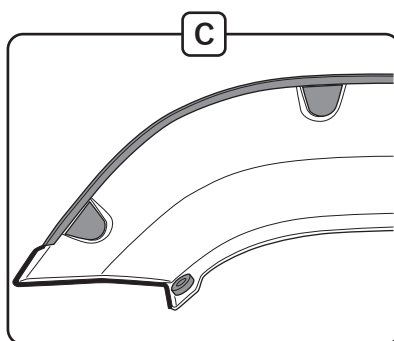
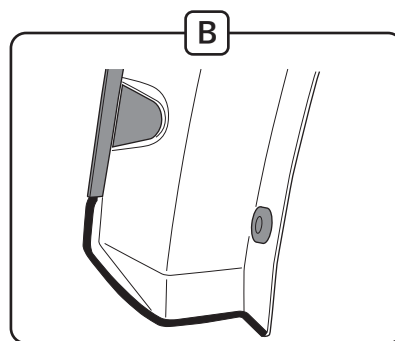
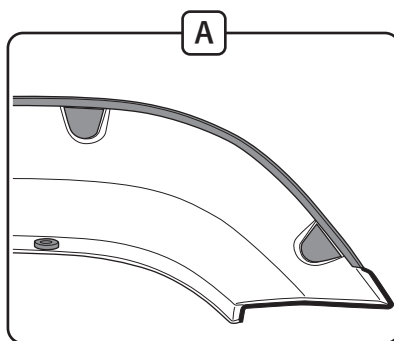
- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いため、使用しない場合は速やかに袋へ戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗装後は常温で10分程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。

型抜き両面テープ⑦の貼付け



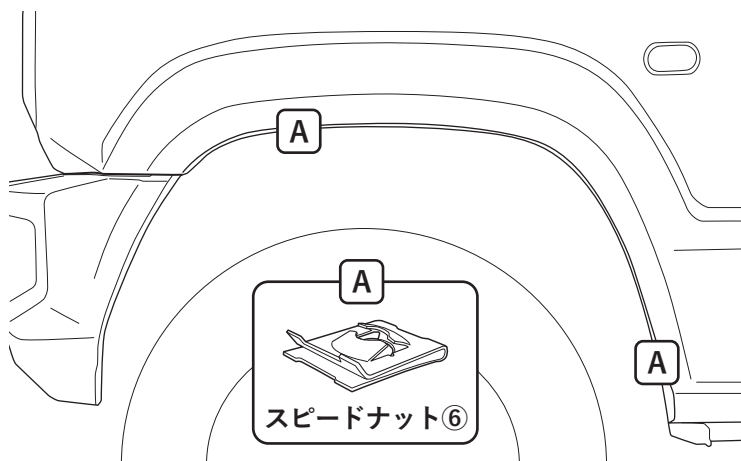
型抜き両面テープ⑦はエンドモール⑧と1mmクリアランスをあげ、片面の離型紙をめくり、台座の形状に合わせて貼付けてください。

(フロント/リヤ 左右各6箇所)



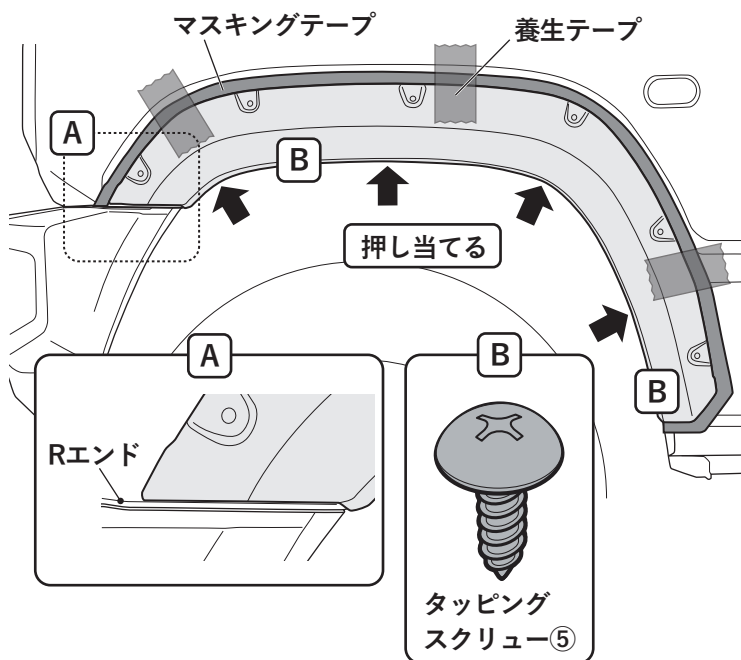
2.フロント側の取付け準備

LH図示 ※RHも同様



- ・車両からインナーフェンダーを取外します。
- ・図Aの箇所にスピードナット⑥を取付けます。
- ・インナーフェンダーを車両に復元します。

👉アドバイス 図Aの箇所から取外した純正クリップは使用しません。大切に保管してください。

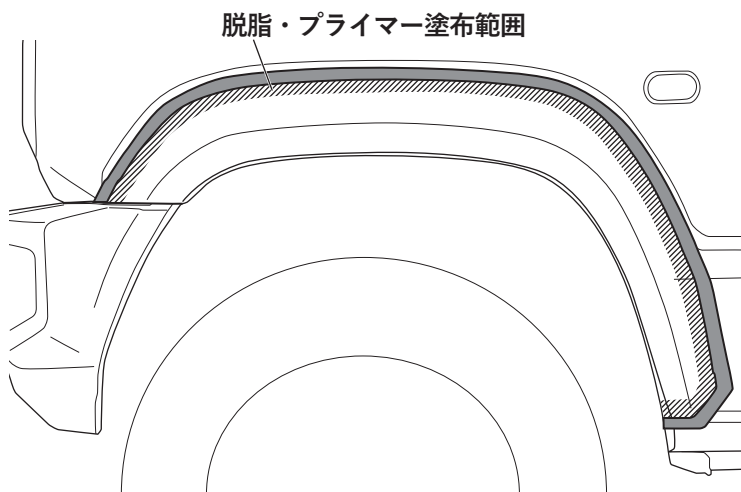


- ・図を参照しフェンダーガーニッシュ本体(Fフェンダー)①を車両にあてがい、養生テープで固定します。
- ・図Bの箇所をタッピングスクリュー⑤で仮締めします。

👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

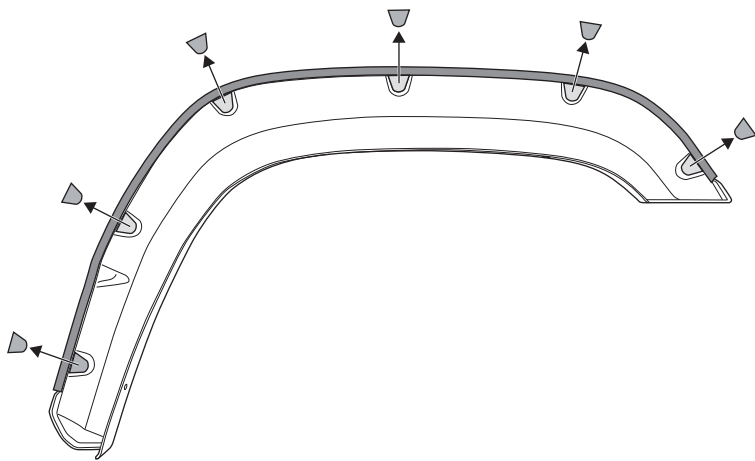
👉アドバイス 図Aの箇所で車両フェンダーRエンドとフェンダーガーニッシュ本体①の端末を合わせてください。

- ・取付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングします。
- ・フェンダーガーニッシュ本体(Fフェンダー)①を取外します。



- ・両面テープの接着面(斜線部)をクリーナー100⑩で脱脂/洗浄し、同じ箇所にPACプライマー⑪を塗布します。

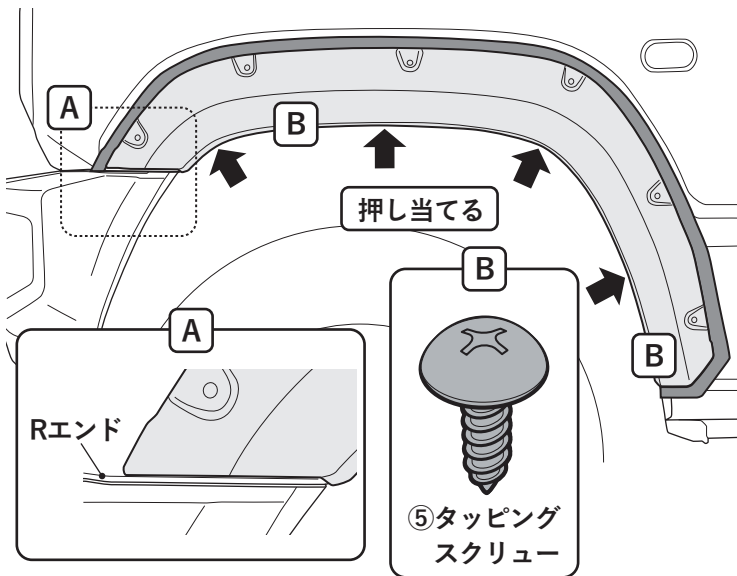
⚠️注意 クリーナー100及びPACプライマーは、あとでリヤ側の作業にも使用するため、捨てずに保管してください。



- ・型抜き両面テープ⑦の離型フィルムを全て剥がします。(6箇所)

3.フロント側の取付け

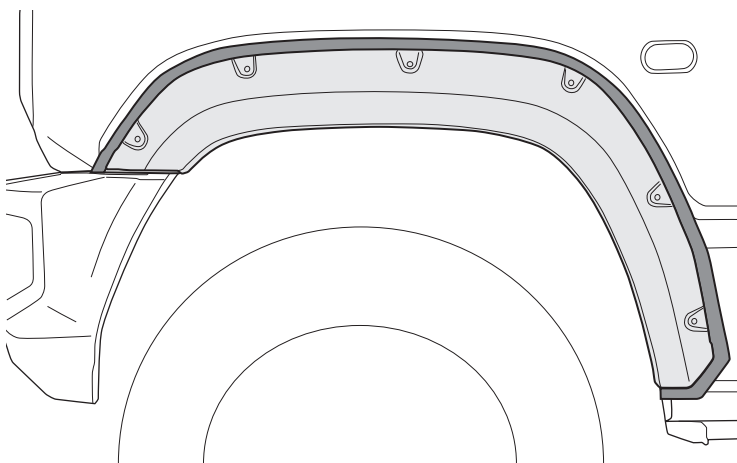
LH図示 ※RHも同様



- ・図を参照しフェンダーガーニッシュ本体(Fフェンダー)①を車両にあてがい、図Bの箇所をタッピングスクリュー⑤で仮締めします。

👉アドバイス 図Aの箇所で車両フェンダーRエンドとフェンダーガーニッシュ本体①の端末を合わせてください。

👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。



- ・上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、型抜き両面テープ⑦貼付け箇所(ダミーボルト台座部)を圧着します。

- ・マスキングテープを剥がします。

- ・仮締め箇所を本締めします。

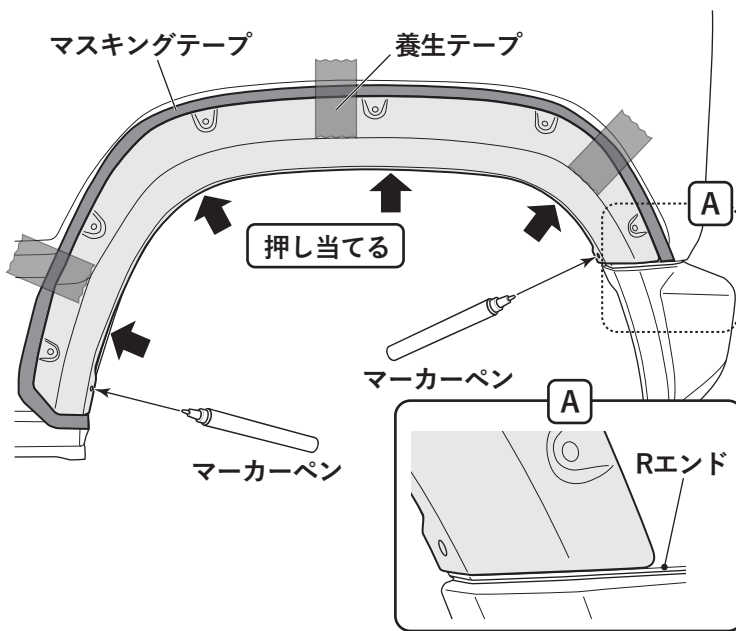
👉アドバイス 両面テープの圧着は500kpa(5kgf/cm²)程度で行ってください。

👉アドバイス 両面テープの圧着はドライヤーなどで温めながら行うと、より効果的です。

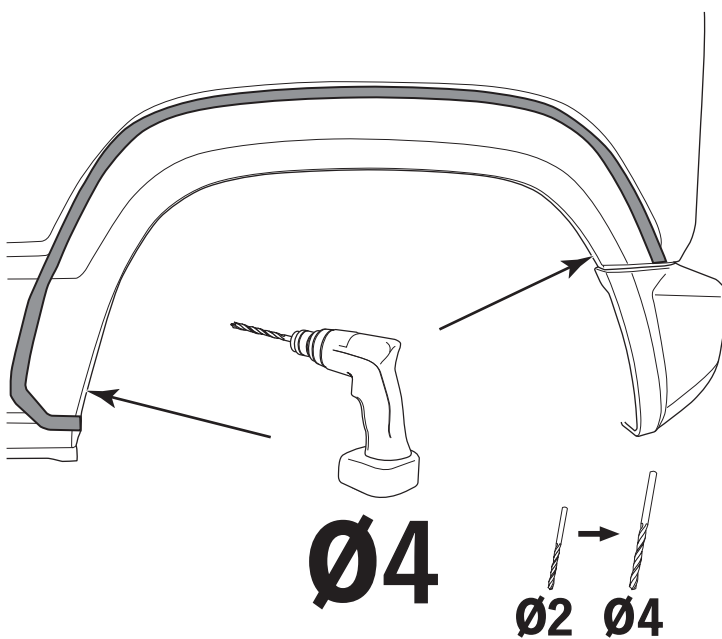
⚠️注意 取付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取付け部分に隙間が発生する可能性があります。

4. リヤ側の取付け準備

LH図示 ※RHも同様



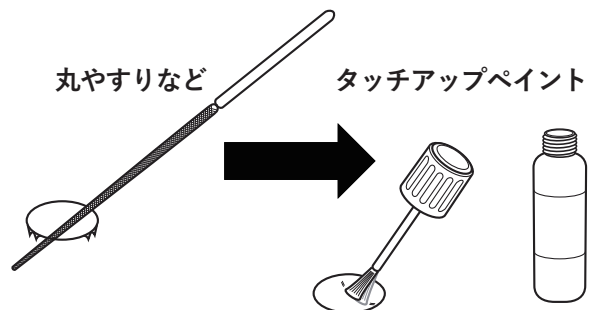
- ・車両からリヤタイヤを取外します。
- ・図を参照しフェンダーガーニッシュ本体(Rフェンダー)②を車両にあてがい、養生テープで固定します。
- 👉アドバイス 図Aの箇所です車両フェンダーRエンドとフェンダーガーニッシュ本体②の端末を合わせてください。
- 👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。
- ・取付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングします。
- ・フェンダーガーニッシュ本体(Rフェンダー)②の穴位置をマーカーペンでマーキングします。
- ・フェンダーガーニッシュ本体(Rガーニッシュ)②を取外します。



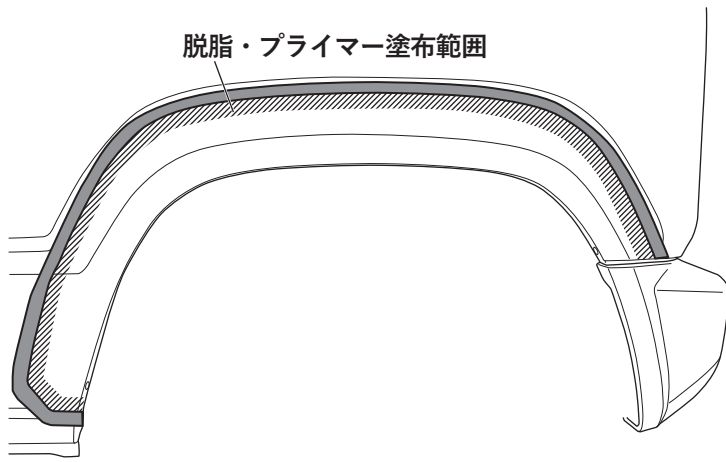
- ・図を参照しマーキングした穴位置にφ2のドリルで下穴をあけ、φ4のドリルで本穴をあけます。

⚠️注意 穴開け加工は車体を損傷しないよう十分に注意しながら行ってください。

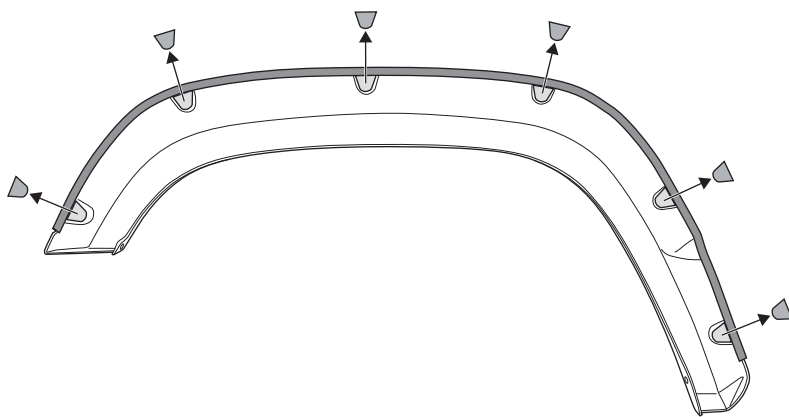
- ・丸やすりなどで穴のふちにできたバリを除去します。
- ・下地が見える部分をタッチアップペイントでサビ止め加工を施します。



⚠️注意 サビ止め加工は必ず行ってください。穴周辺からサビが進み、タッピングスクリューが抜け落ちる恐れがあります。



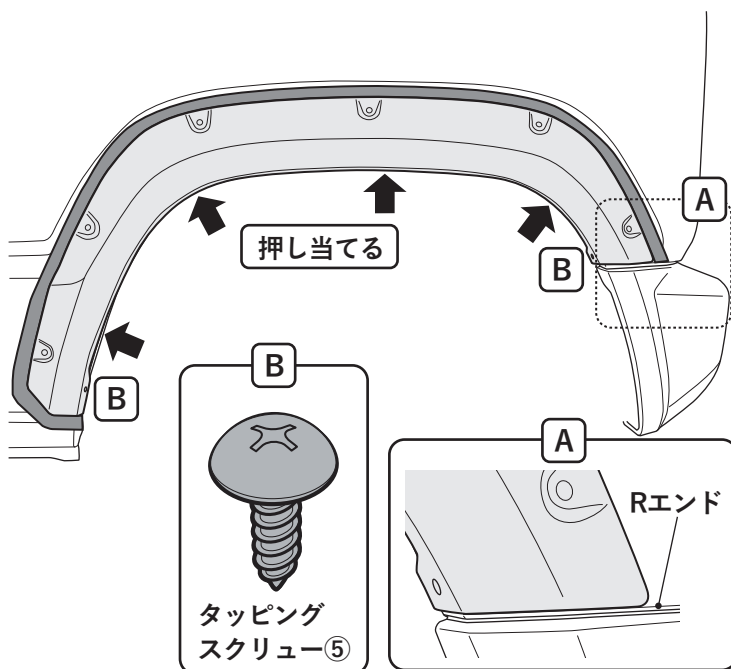
- ・両面テープの接着面(斜線部)をクリーナー100⑩で脱脂/洗浄し、同じ箇所にPACプライマー⑪を塗布します。



- ・型抜き両面テープ⑦の離型フィルムを全て剥がします。(6箇所)

5. リヤ側の取付け

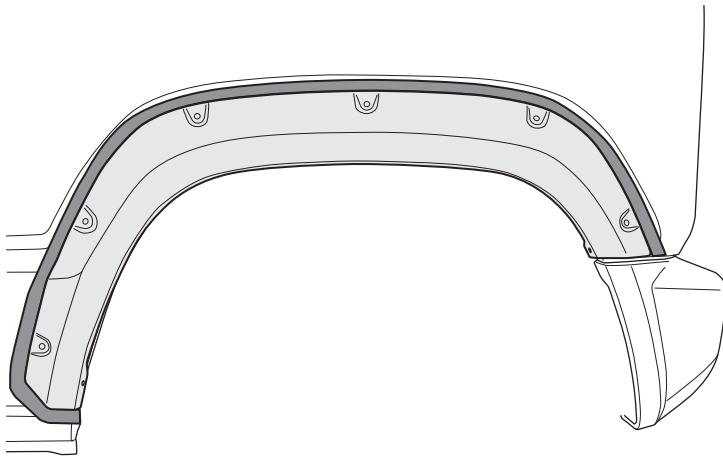
LH図示 ※RHも同様



- ・図を参照しフェンダーガーニッシュ本体(Rフェンダー)②を車両にあてがい、図Bの箇所をタッピングスクリュー⑤で仮締めします。

👉アドバイス 図Aの箇所で車両フェンダーRエンドとフェンダーガーニッシュ本体②の端末を合わせてください。

👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。



! 注意 取付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取付け部分に隙間が発生する可能性があります。

・上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、型抜き両面テープ⑦貼付け箇所(ダミーボルト台座部)を圧着します。

・マスキングテープを剥がします。

・仮締め箇所を本締めします。

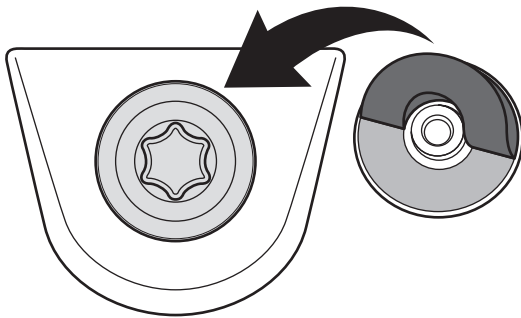
! アドバイス 両面テープの圧着は500kpa(5kgf/cm²)程度の力で行ってください。

! アドバイス 両面テープの圧着はドライヤーなどで温めながら行うと、より効果的です。

・リヤタイヤを車両に取付けます。

ダミーボルトの貼付け方法

裏側の離型紙を剥がす



・①フェンダーガーニッシュ本体(Fフェンダー)及び②フェンダーガーニッシュ本体(Rフェンダー)に③ダミーボルトを貼付けます。

■①フェンダーガーニッシュ本体(Fフェンダー)
片側6箇所、左右計12箇所

■②フェンダーガーニッシュ本体(Rフェンダー)
片側6箇所、左右計12箇所

装着状態の確認

! 注意 装着後には必ず取付確認を行ってください。
ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。